

2023 年度 **総合型選抜（11 月募集）【課題型】**

国際文化学部 比較文化学科

**課題発表（プレゼンテーション）**

## ◇プレゼンテーションの課題◇

あなたがこれまで行ってきた、異文化理解や多文化共生に関連する総合的な探究活動、ないしそれに類する活動を1つとりあげて、プレゼンテーションを行ってください。その活動が中学校や高等学校などの正課活動として実施されたか、それとも課外活動でされたかは不問とし、あなたが学校の外で個人的・自主的に行っていたり参加していたりした活動をとりあげても構いません。

プレゼンテーションでは、あなたが携わった活動が異文化理解や多文化共生をめぐるいかなる問題を解決しようとする試みだったのかについて、またその活動の具体的な内容、活動後に残った課題、活動においてあなたが果たした役割・貢献について、発表してください。なお、活動それ自体がもともと異文化理解や多文化共生に明示的に関連していなかった場合は、どのような問題の解決に貢献するものだったと解釈できるのかを発表してください。

## 【評価の視点および諸注意】

## ① 評価の視点

プレゼンテーションと口頭試問においては、入学後に必要な総合的学力としての「知識・技能」「思考力、判断力、表現力」に加え、「主体的に多様な人々と協働できる態度」を評価します。そのため、活動の詳細だけでなく、その活動が関連すると考えられる異文化理解や多文化共生をめぐる解決すべき問題についても、具体的で明確な説明をすることを心がけてください。

## ② 諸注意

プレゼンテーション資料を作成する際は以下の点に注意してください。

- ・文献・各種データなどを適宜参照し典拠を示し、客観的な説明を心がけてください。
- ・ネット記事に言及することは妨げませんが、匿名の SNS でのポストなど根拠の不明瞭なものへの言及は控えてください。
- ・図表や画像などの視覚資料も適宜交えてください。
- ・定められた時間内で十分な説明ができるよう事前に練習してください。
- ・口頭試問における質問などを想定して、的確に返答できるよう準備してください。

## 【試験当日に持参するもの】

(1) 所定書式の「2023 年度 関東学院大学国際文化学部比較文化学科 総合型選抜 プレゼンテーション要約シート」3部（コピー可）

- ・プレゼンテーションをわかりやすく要約してください。
- ・参考にした書籍や資料、ウェブサイトの URL などを必ず記載してください。
- ・記述方法は自由（ワープロソフト使用可）ですが、全体で1ページに収まるようにして下さい。

※プレゼンテーション要約シートの書式は[こちら](#)（docx 形式）から、ダウンロードしてください。

(2) プレゼンテーション資料は、以下 a, b のいずれかを選び、持参してください

a. 模造紙（プレゼンテーション時に掲示）：1枚

- ・要約シートをもとに、プレゼンテーション時に掲示する模造紙を作成してください。
- ・四六版（788×1091mm）の模造紙を表面（片面）のみ使用してください。
- ・書式は自由。文字は自筆のみ認めます。
- ・図・写真を使用してもかまいません。

b. Microsoft PowerPoint の電子データと、それをプリントアウトしたもの3部

- ・要約シートをもとに、プレゼンテーション用資料を Microsoft PowerPoint で作成してください。
- ・USB でコンピュータに接続できる記録媒体（USB メモリ等）に、作成した電子データを保存し、事前にウイルスチェックを必ず行い、忘れずに持参してください。当日は受験生自身が PC の操作をしながらプレゼンテーションを行います。
- ・プレゼンテーションに使用する PC・プロジェクター・スクリーンは大学で用意します。
- ・作成したデータはプリントアウトし（1 ページに2スライド、3部）、当日審査員に配布してください。
- ・大学で用意するパソコンの OS は Windows 10、ソフトは PowerPoint 2016 です。

**【実施要領および注意事項】**

(1) プレゼンテーションの時間は 10 分間です。プレゼンテーション終了後、質疑応答を 10 分間行い、そのあと続けて面接を 10 分間行います（プレゼンテーション、質疑応答、面接で計 30 分です）。

(2) プレゼンテーションのときに持ち込めるのは、「要約シート」と、「模造紙」または Microsoft PowerPoint の電子データを保存した記録媒体とそのデータをプリントアウトしたもののみです。それ以外のもの（読み上げ用の原稿、PC・タブレット・スマートフォンなどの電子機器、その他）は一切持ち込みを認めません。なお、要約シートと、模造紙またはデータをプリントアウトしたものは、試験終了後に提出してもらいます。

(3) 要約シートは、試験当日に3部持参してください。1部は受験者用、2部は審査員用です。受験者用のシートは、枠外および裏面への事前の書き込みを認めますが、枠内については、審査員用の要約シートと必ず同じ記載内容になるようにしてください。試験開始時に、審査員が要約シート3部の枠内の記載内容がすべて一致しているかどうかを確認します。

(4) 模造紙を用いる場合、試験開始時にホワイトボード（もしくは黒板）に、マグネットで貼り付けてください。ホワイトボード・黒板、マグネットはすべて大学で用意します。ただし、ホワイトボード・黒板にその場で文字を書くことは認められません。

(5) Microsoft PowerPoint を用いる場合、試験開始時に PC に記録媒体を接続し、プロジェクターでスクリーンに画面を映してください。PC、プロジェクター、スクリーンは大学で用意します。ただし、ホワイトボード・黒板にその場で文字を書くことは認められません。なお、万が一電子データが開けなかった場合は、要約シートおよび電子データをプリントアウトしたものにもとづいて発表を行ってください。

(6)プレゼンテーションは、原則として、貼り付けた模造紙のそば、またはPCのそばに立った状態で行います。ただし、体調などに特別な事情がある場合には考慮しますので、試験開始時に審査員に申し出てください。